

Q1. インタビュー動画作成に協力いただけますか？

アンケートのみ

Q2. インタビュー候補日

Q3. あなたが思う議員の役目はなんだと思いますか？

地元地域の皆様の声を市政に届けるパイプ役と5年、10年先（将来）を見据えたビジョンの創造

Q4. あなたがご自分の強みだと思えることは何ですか？

デンソーでの「モノづくりの設計経験」を活かした課題に対する解決力。今まで培ってきた地位活動による多くのネットワークと絆でフットワーク良く活動すること。

Q5. あなたが自分の弱みだと思えることはなんですか？

気配りしすぎること。

Q6. 今の西尾市についてどう思っていますか？

現在の議会は閉ざされた議会で透明性や説明責任が果たされていない状態にあると思う。各種部会や委員会ですっかり議論ができていないか、PFI事業など議員会での議論が尽くされているのか、内容を理解しているのか市役所職員への内容共有はできているのかなど多くの疑問があります。現状のままでは西尾市方式 PFI 事業の見直し、産業廃棄物最終処分場の建設問題など課題山積です。教育の現場では小学校での部活動の縮小や令和8年に向けての部活動廃止など検討されているが、部活動廃止になった時の放課後の子どもたちの行き場など仕組みを変えた時の影響に対する対策などが示されていない。課題の解決案を示していない西尾市がいます。

Q7. 西尾市の未来がどうなることを願っていますか？

現在の議会在透明性よく説明責任が果たされる状態になることを願います。

PFI事業の見直しについては、「見直し案」が進展しないので市役所側とSPC側が議論を尽くし落としどころを見つけていただくことを望みます。一つ例を挙げると「長期契約」の見直しは必要と考えます。経済変動、環境変化、IT技術革新など効率化状況に応じた見直しができることを願います。産業廃棄物最終処分場の建設問題は市民への浸透度が低く問題意識が低い状態なので市役所側での弘教活動を活性化していただき、日々の会話の会話の話題になるほど意識が向上することを願います。

Q8. あなたが描く未来の西尾市に対して、あなたは何をしますか？

市民に開かれた議会であるため市政報告会の励行。市民との対話の場を多く持ち市民の意見の吸い上げ、事業に対する意見交換会を多くもち「よく聞いて」「よく見て」「よく歩いて」地域の方々の意思を市政に届け、実現に向けて活動します。

PFI 事業の見直しについては、「見直し案」が進展しないので市役所側と SPC 側が議論を尽くし落としどころを見つける努力をします。一つ例を挙げると「長期契約」の継続ならば見直しはセットで行う必要性を訴えます。産業廃棄物最終処分場の建設問題は建設した場合の影響、環境変化を市民に分かりやすく訴え、他人事ではなく自分たちにも影響があることを理解していただく。

Q9. 立候補を決めたきっかけは何ですか？

2001 年に受けた子ども会校区会長をきっかけに 9 年間学校関係の PTA に携わり、多くの方々の意見を「よく聞き」、地域を「よく歩き」「よく見る」ようになりまた。また、西尾、米津の川祭りに携わり、北部発展会で多くの地域事業者の方々との会話の中からも西尾の北の玄関口である米津、南中根の開発が止まっていることに気づかされ、老朽化が進んでしまっている環境、施設改修など米津、南中根を再建するため立候補を決意しました。

Q10. 自己 PR

私は西尾で生まれ育ちました。この町が大好きです。学校を卒業後デンソーでモノづくりの設計の仕事をしてながら、PTA、剣道、西尾・米津の川まつり、ボランティアなどをして地位活動に携わってきました。活動をしていく中で、少子高齢化や地域の間人関係の希薄化が進み、まちから活気がなくなったり、安心感も薄れるなど様々な問題を感じるようになりました。これからの西尾市を持続可能で元気なまちにするためには、地域のつながりが重要です。ご近所のつながりが校区のつながり、さらには西尾市全体のつながりを生み出します。そのためには、地域の声を「よく聞き」地域を「よく見て」地域を「よく歩き」皆様の声を市政に反映してまいります。